



文協おおぶ

～創立30周年 芸にみがきを！～

【発行】大府市文化協会 大府市中央町五丁目70 大府市役所文化国際課内 TEL(0562)45-6266

30周年特集号



式典：30周年記念演奏会



大府市長
久野 孝保

大府市文化協会の創立三十周年、誠におめでとうございます。

文化協会におかれましては、レクリエーション協会の後を受け、昭和五十二年に八部門二十八の加盟団体、九十五名の会員で発足され、創成期や拡大期には幾多の困難を乗り越えられて、本市の文化芸術事業の推進に努められました。今日では十部門六十五の加盟団体、一三四六人の会員を数えるまでに拡大され、市民の文化振興に多大なご貢献をいただきましたことに、歴代会長さんを始め役員の方々、会員の皆さんのご努力とご熱意に深く感謝と敬意を表するものでございます。

先般盛大に開催されました「創立三十周年記念式典・アトラクション」では、これまで皆さん方が培われた芸の数々に触れ、三十年という歴史の重みと会員の皆さん日々のご努力を感じることができました。今後さらに芸に磨きをかけ、いつまでも若さと元気を維持していただき、大府市の文化振興のためにご尽力を賜りたいと思います。

最後になりましたが、この創立三十周年を契機に、文化協会がますます発展されることを祈念申し上げ、お祝いのご挨拶をいたします。

文化協会におかれましては、レクリエーション協会の後を受け、昭和五十二年に八部門二十八の加盟団体、九十五名の会員で発足され、創成期や拡大期には幾多の困難を乗り越えられて、本市の文化芸術事業の推進に努められました。今日では十部門六十五の加盟団体、一三四六人の会員を数えるまでに拡大され、市民の文化振興に多大なご貢献をいただきましたことに、歴代会長さんを始め役員の方々、会員の皆さんのご努力とご熱意に深く感謝と敬意を表するものでございます。

先般盛大に開催されました「創立三十周年記念式典・アトラクション」では、これまで皆さん方が培われた芸の数々に触れ、三十年という歴史の重みと会員の皆さん日々のご努力を感じることができました。今後さらに芸に磨きをかけ、いつまでも若さと元気を維持していただき、大府市の文化振興のためにご尽力を賜りたいと思います。

文化協会三十周年を祝して

平成十九年度総会

地方選挙のため、ずれ込んだ平成十九年度の総会は五月十三日（日）市役所多目的ホールにて開催しました。

久野市長はじめ来賓の祝辞を頂戴した後、議事に移り十八年度の事業報告・決算書および十九年度の事業計画・予算書が審議されました。任期満了に伴い役員選挙があり、会長に深谷良一、副会長には花井秋子・小澤数雄各氏が選出され、また各部門の理事、企画・編集委員の交代がありました。

会長より、「今年は創立三十周年です、記念事業『市民の第九演奏会』をして『新城歌舞伎公演』を会員みんなの協力で成功させましょ」とアピールがあり、総会は閉幕しました。

◆第十四回文協歌謡祭

第十四回を迎える文協歌謡祭もお客様の期待と会員の一年一回の発表する熱意が定着し、開場九時には二百名のお客様が待たれる大盛況でした。

カラオケや生バンドで百十九曲の熱唱が披露されました。ゲストに第一回より二回目の男性歌手「岩出和也」「ショーン」で一時間十分に及ぶ歌唱で会場の皆様が楽しい時間を過した一日でした。

◆第十四回文協歌謡祭

◆第十四回文協歌謡祭

会長より 今年は創立二十周年です、記念事業『市民の第九演奏会』そして『新城歌舞伎公演』を会員みんなの協力で成功させましょう』とアピールがあり、総会は閉幕しました。
(注)別紙総会資料参照(事務局)

◆早春の甘い香り漂う盆梅展

◆早春の甘い香り漂う盆梅展
第十六回大府盆梅展が二月十二日から十八日まで大倉公園で開催され、県内外から多くの来場者でにぎわいました。日本盆栽協会東知多支部と文化協会大府市盆栽会の会員が丹精込めて育てた紅梅や白梅約七十点が展示されました。樹齢約二百五十年の紅梅や、滋賀県長浜市の長浜盆栽展からの特別展示もあり、見事な枝ぶりと早春の甘い香りを漂わせ、訪れた人々を楽しませていました。今年は暖かい気候が続いたため、全体的に開花が早く会期後半には満開となり、一層甘い香りが会場内を漂わ



会場では他に文化協会の府柳クラブの色紙、短冊の展示、茶華道連盟の茶席も設けられ、初日は琴や尺八の演奏もあり、午前中は甘酒も振る舞われました。毎年開催し好評をいただいているので盆梅展に是非ご来場ください。

(大府市盆栽会会长) 井村 錠



◆文協會員・研修旅行

七月八日曇り空での出発でしたが、雨に降られることもなく天気に恵まれ、若狭三方縄文博物館・福井大安禪寺へ行つてきました。縄文博物館では若狭町内の遺跡から出土した土器や丸木船など、先人の文化に触れることが出来ました。大安禪寺では座禅のミニ体験をしたり、何よりも和尚さんの法話はとても楽しく、大爆笑のなか毎日の生活でつい忘れてしまう大切なことを判りやすく教えて頂き、帰りには和尚さんが握手で送り出してくれたのには感激しました。研修旅行でいつも思うことはバランスの中や昼食の時など、同じ文協の他の会の人とお話をしたりして、親睦を深めることを密かに楽しみにしています。さて来年はどこに行くのかな……。



平成十五年度～ 十九年度特集



15年度県民茶会



16年度研修旅行



17年度205人大府の第九



19年度30周年記念式典

18年度文協教室
笑う門に健康来る

◆文協まつり 一力作に魅せられて—
今年は創立三十周年記念式典も行なわれ、活気に満ちた祭典になりました。盆栽を始めとして瓢箪や人形、レザークラフトなど何れ一つとつても玄人裸足だ。草木染の暖簾など街中の家々に飾つたら何と素晴らしい事だろう。短歌や川柳などは思わず吹き出したり胸のつまされる作品に足をとめ読み入る人も多かつた。写真や絵画も力作揃いで、かな書道などは“素晴らしい”の一言だ。茶華道室に至つては神々しい感じさえしていた。生け花に抹茶のほろ苦

さが忙しい人々に一時の安らぎを与えて来場者も満足された事と思います。来年も又再来年も果てる事のなぐ続き一人でも多くの方々にこれらのお茶会が催されました。

◆第三十一回芸能祭
さわやかに晴れわたった五月二十日(日)、勤労文化会館もちのきホールにて、第三十一回芸能祭が盛大に開催されました。早朝八時前から列をつくつてお越しいたお客様、友人やお孫さんの出演時間に合わせてお運び下さいましたお客様等延べ千三百余名の方々で場内は満席となりました。

(文協まつり実行委員長 鈴木幹人)



◆第三十一回芸能祭
文協会長さんのご挨拶をいただき三十一団体の晴れやかな舞台が繰広げられました。出演者の中には、九十才を過ぎた方、二十回以上出演のベテラン会員、そして若い方、小さなお子様会員まで、一生懸命の熱演となりました。

七日(日)、勤労文化会館もちのきホールにて、第三十一回芸能祭が盛大に開催されました。早朝八時前から列をつくつてお越しいたお客様等延べ千三百余名の方々で場内は満席となりました。



◆「つつじまつり」を終えて
つづじの花もチラホラ咲きかけてきた大倉公園に於いて、四月二十一日、二十二日、今年もまつり協賛のお茶会が催されました。

例年、相当の方々は、お天気を気にしながら準備を進めるのですが、今年は何とか二日間通して大きな天候のくずれもなく、終了する事が出来ました。

日頃お会いする事のない多くの人達に、一服のお茶を通して「出会い」と「笑顔」をいただき、釜を懸けさせていただいた者として、大きな喜びを感じて居ります。

この様な機会がなければ、お話しすることもない、これこそ「一期一会」。お茶を長年続けてきて良かつた！ と思うことでした。

(茶華道連盟 会員 阪野洋人)



に場内から盛大な拍手喝采を受けました。皆様のご協力で予定通り終了いたしました事を心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
(芸能祭実行委員長 加藤弘子)

